

お お づ きた ちゅう が っ こ う
大津北 中学校

かんきょう はいりょ かつよう
「環境に配慮したエネルギー活用について」

みやざき ち ひろ かわなべ え み な
宮崎 千寛 議員 ・ 川邊 絵美菜 議員

質問

みやざき ぎ い ん
宮崎議員

わたし り か じゅぎょう がくしゅう かんが
私たちは、理科の授業でエネルギーの学習をしました。そのまとめとして、考えたことをもとに3つのことを提案したいと思います。

め きぎょう れんけい しつがいき はつでん きかい どうにゅう
1つ目に、企業と連携して、室外機で発電できる機械を導入することです。

げんざい たてもの そうちく と も な しつがいき そう か しつがいき かぜ なが
現在、建物の増築に伴い、室外機が増加しています。室外機でただ風を流すよりは使用する分だけ発電できると良いと考えました。

また、おおがたしせつ せっち ぶん まち でん き し ょ う り ょ う さくげん
また、大型施設などにも設置できるとその分、町の電気使用量を削減することができると考えられるので、実際に導入できると良いと考えました。ですが、室外機による発電機はまだまだ実証実験段階中のものなので、企業と連携してコストを抑えながら、新しいエネルギーの導入に積極的に取り組むことを町としても検討していただけると良いと考えました。

め たいようこうはつでん はな おち
2つ目に、カーポートでの太陽光発電をすることについてお話ししたいと思います。ソーラーパネルを設置するとき、やま き ひら せっち
ソーラーパネルを設置するとき、山を切り開いて設置するということがあると思います。しかし、やま き ひら ばっさい
しかし、山を切り開くためには伐採しなければならないというのが課題です。もとの環境を傷つけないようにするにはカーポートのようなすでにある施設に設置をしたりすると場所を取らず、かんきょう たいせつ めん よ おち
環境を大切にすると面でも良いと思いました。例を挙げると阿蘇くまもと空港にも広い駐車場があり、カーポートがある場所もあります。そこに、たいようこうはつでん せっち りよう よ おち
太陽光発電を設置して利用すると良いと思います。

わたし じどう せいと ぶだん にさんかたんそ はいしゆつ じてんしゃ
また、私たち児童・生徒は、普段から二酸化炭素が排出されることのない自転車や、こうきょうこうつうきかん りよう おお
公共機関の利用が多いですが、くるま めんきよ も かたがた りよう
車の免許を持っている方々はそれらの利用が少ないのではないかと考えています。そこで、じてんしゃ こうきょうこうつうきかん りよう ぶん
自転車や公共機関の利用が増えるようキャンペーンを行ってみてはいかがでしょうか。くまもとしない あか じてんしゃ み
熊本市内で赤い自転車を見かけたことはありませんか。ご存じの方も居られるかもしれませんが、くまもとしない み あか
熊本市内で見られる赤いじてんしゃ おお
自転車の多くは「チャリチャリ」という、いつでもすぐに乗れて、きがる いどう
気軽に移動できるシェアサイクルサービスのじてんしゃ りようりつ あ まいにち
自転車の利用率を上げることで毎日

でなくても、週に1日、2日でも自転車を利用することで、二酸化炭素の排出を抑えることができるようになるのではないのでしょうか。更に、公共交通機関を充実させることも二酸化炭素を削減することにつながっていくと考えます。

以上のことを踏まえて、町長にお尋ねします。

環境に優しい町づくりを行うために、エネルギーの活用や使用量の削減などを推進する政策についてお尋ねします。

答弁

金田町長

環境にやさしいまちづくりに関する提案についてお答えします。

まずは、1点目の「室外機のファンを利用した発電についてになります。議員がおっしゃるように、エアコンの室外機から放出される風のエネルギーを利用した発電機の実証実験を行っている企業があると同っています。また、町内では工場や物流施設、ホテルなどの建設に伴い、発電に利用できる大型室外機も数多く存在しているものと考えます。

一方で、議員からのご提案を受けて町でも調査をしたところ、室外機の風力を利用した発電機は、装置導入の初期費用が発電量に比べ高額であること、及び発電量が季節や気温などによる室外機の稼働時間、風速に依存するなどの理由により議員もおっしゃられたとおり、実用化に至っていない状況ですので、現時点での積極的な導入は厳しいと考えています。

しかし、室外機から放出される風力エネルギーの再利用を含めて、再生可能エネルギー設備の普及を推進することは、町の基本構想とも一致しております。現在、テクノロジーは日々追うごとに進化していますので、今回ご提案いただいた内容の動向も注視しつつ、町として新たな再生可能エネルギーの活用には前向きに取り組んでいきます。

次に2つ目の「カーポートを利用し、場所を有効活用することについて」お答えします。大津町では、平成19年度から27年度にかけて、住宅の屋根やカーポート上などに設置する太陽光発電設備に対して補助金をだしていましたが、一定の重量がある発電設備を設置するにあたって、通常のカーポートでは強度が不足している等の理由によってカーポートには設置されませんでした。カーポートのような形状のものに太陽光

発電のパネルを載せるには、大津町中央公園の南側道路沿いにあるベンチの日よけを兼ねた太陽光発電のような丈夫な構造が必要になるためです。町の事業ではありませんが、一定要件を満たすソーラーカーポートに対する補助事業が環境省で、法人や企業を対象にしたものがありますので、必要に応じてご案内することで、ソーラーの普及に繋がりたいと考えています。なお、議員がご心配されていますソーラーパネル設置に伴う森林の伐採につきましては、大津町では「太陽光発電設備の設置・管理条例」を制定、施工後は太陽光発電施設を適切な区域に誘導し、自然や生活環境の保全及び住民の安全で安心な生活の確保を図っています。

次に、3つ目の「二酸化炭素の排出を減らす」についてお答えします。二酸化炭素の排出を減らす取り組みにつきましては、町内では鉄道やバスのほか、乗合タクシー、空港ライナーなどの公共交通が運行しております。議員がおっしゃるとおり、公共交通機関は自家用車と比べ、一人当たりの二酸化炭素排出量が少なく、環境に優しいのものです。町では、昨年10月から「まちなかバス」の実証運行を行っており、バス路線の延伸や主要施設へのバス停の新設、料金を100円均一にするなど公共交通機関に慣れ親しんでいただく工夫をしております。実証運行開始から約10カ月が経過しますが、実証運行前に比べ、バス利用者は2割程度増加しております。また、自家用車から鉄道やバスなどの公共交通機関への転換を図るために通勤バスの実証運行も併せて実施するなど、様々な取り組みを行っているので、今後も多くの方に公共交通を活用いただき、二酸化炭素の削減や渋滞緩和に努めていきます。

なお、「チャリチャリ」も含め、シェアサイクルの取り組みも都市部や観光地で広まっておりますが、採算性や運用面で課題もあるようです。引き続き、環境負荷軽減に繋がるよう、公共交通機関の利用を促進し、自転車利用に関する取り組みにつきましても民間事業者と連携協力して実施に向けた検討を行っていきたいと考えています。

感想

川邊議員

的確なご返答ありがとうございました。今回提案した内容の中には、まだ課題も多くあり、すぐに採用・実施というわけにはいかないことがよく分かりました。今回の質問を考え、調べていく中で「ソーラーカーポート」は環境省の支援政策があるという

ことを知りました。今後、積極的に商業施設や企業などに案内を出して取り組みが進めばいいと思いました。町としても新たな再生可能エネルギーの活用に前向きに取り組んでいかれるということで、大津町にある企業などと協力し、導入が進んでいくことを期待しています。また、「100円で乗れるまちなかバス」はとても魅力的です。人口増加により、車の利用も増え、ますます環境への負荷が心配です。したがって、多くの人が「まちなかバス」の存在を知り、利用が増えていくといいと思いました。私たちも今は、通学で自転車を使うことが多いですが、これからも簡単に車で送迎してもらうのではなく、自転車や公共交通機関を使っていきたいです。今回、このような機会をいただき、町の取り組みを知り、環境・エネルギー問題について考えることができました。一人ひとりが少しずつ身の回りのことについて考えると、もっと過ごしやすい町になっていくと思います。私たちも身近な人や環境に優しい行動をしていきたいです。

ありがとうございました。